

【テーマ1】 信州大学

「教育臨床活動を軸とした実践的なICT活用指導力を育成するための教職カリキュラムの開発」

調査の概要

◆課題認識

- Society5.0時代において教員には先端技術を効果的に取り入れたICT活用指導力が一層重要となり、教員の養成・研修を通じて、教職生活全体にわたって育成・充実を図ることが望まれる。
- 教員養成学部、教職大学院、附属学校において、教員養成から学校現場での実践までを通じた一体的な取り組みや検証を行い、その成果を他の教員養成大学・学部等に展開していくための牽引役となることが期待される。

◆調査研究の目的

- 児童生徒がICTを活用する問題発見・解決的な学習活動で高い指導力を有する教員を育成することを目指し、附属学校と大学の有機的なつながりによる教育臨床活動を軸に、実践的かつ、学部から大学院まで一体的にICT活用指導力育成を実現する先導的な教職カリキュラムを開発。

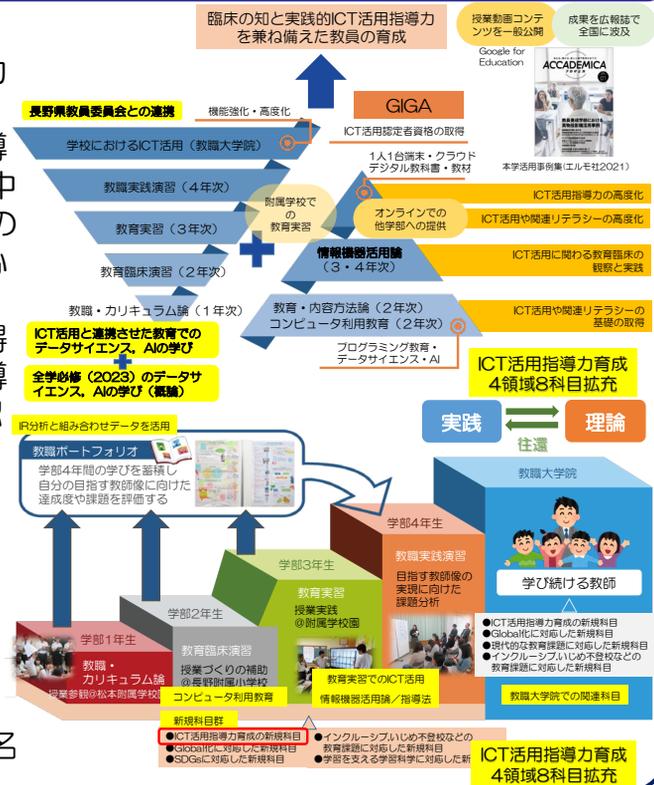
取組のポイント・成果

◆取組のポイント

- ①教育臨床科目を軸とした実践的なICT活用指導力育成のための教職カリキュラムの開発と実践
 - これまで単独の授業として別々にICT活用指導力を高めていたものを、教育臨床経験科目の中に位置付けて系統的に育成することに。臨床の知を中心としたICT授業授業参観・実践を中心に、より実践的なスキル育成に貢献できた
- ②ICT活用指導のスキルレベルを証明する資格取得
 - これまで文部科学省による教員のICT活用指導力チェックリストだった評価指標をGoogle認定教育者資格にも拡大。より客観的なスキル向上・評価につなげることができた

◆成果

- ①長野県学校教員のICT活用指導力より上昇
 - 全項目（A～D）で長野県平均値を上回った
- ②教員採用試験に向けたICT活用教育者資格を有する学生の育成
 - Google認定教育者資格（レベル1）：約60名



今後の課題

◆法整備への対応および既存指導法科目との連携

- 新ICT活用指導法科目と教科指導法科目における教育臨床経験科目との連携
- 教育実習の中で教育実習生がクラウドを活用した実習授業を展開するために、実習生用アカウント発行やセキュリティポリシーの制定・関連教育の実施